

ほんべつ



いいひと いいまち いきいき ほんべつ

2…平成22年度

開町記念式典

開町記念日の9月15日、謝恩祭と開町記念式典が挙行され、本別町功労者14人が表彰されました

6…本別きらめきフェスタ2010

8…

「4つの風」を吹き渡らせよう
国民年金コーナー

10…

本別町農産物加工施設あり方検討会

12…

こころの健康づくり講演会
認知症の人と共に暮らす町づくり

14…合併浄化槽のお知らせ

16…

新型インフルエンザワクチン
接種を開始します

18…

本別町職員の人事行政の運営等の状況を公表します

20…

第六次本別町総合計画 Part17

29…

平成22年
10月1日
国勢調査

ハロー本別中学校……………22
みんなの健康・銀河ホットライン……………23
マイタウン……………24
ご寄付ありがとうございます……………28
本のある暮らし・わたしたちのまち……………30



元気いっぱいスタート

本別高等学校（松下龍一校長、218人）恒例の「交通安全強歩大会」が9月17日に開催されました。午前11時に元気いっぱいスタートした生徒たちは、男子42.195*、女子30*のコースを、それぞれのペースで走破しました

平成22年度 本別町 開町記念式典



井出英雄さん
仙美里325番地5

昭和46年本別消防団第3分団入団以来、平成11年に退団されるまで28年の長きにわたり、地域の火災防除および治安の維持に貢献された。

この間、班長、部長を歴任し、分団の連絡調整ならびに団員相互の融和に努められ、団の組織強化発展に尽くされた功績により、北海道知事表彰、北海道消防協会会長表彰などを受賞された。

これらの火災防衛活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



受賞者を代表して謝辞を述べる山田鶴雄さん



高橋正夫町長(左)から賞状と記念品を授与される功労者



式辞を述べる高橋正夫町長

本別町開町記念日の九月十五日、山手町頌徳碑前で「開拓功労者謝恩祭」が、中央公民館で平成二十二年「開町記念式典」が執り行われました。式典には関係者約七十人が出席し、町民憲章の朗唱、黙とうに続いて高橋正夫町長が「まちづくりは大きな変革の時代を迎えています。今こそ先人より受け継いだ不屈の開拓精神をいかに発揮し、『協働』の言葉を胸に力を合わせ『人にやさしいまちづくり』に向かって、本町が心豊かで活力に満ちあふれた、町民一人ひとりが誇りの持てる町として発展するよう、たゆまぬ努力をします。町政の各般にわたり従来にまさる一層のご協力をお願いします」と式辞を述べ、永年にわたり町発展のために尽力された十四人の功労者を表彰しました。林武副議長が祝辞を贈り、受賞者を代表して山田鶴雄さんが「受賞は支えてくれた多くの皆さんのおかげ。今日の感激を忘れず、町発展のためより一層努力してまいります」と謝辞を述べました。



式典出席者



岡本敏文さん
勇足元町16番地23

昭和47年本別消防団第2分団入団以来、平成14年に退団されるまで30年の長きにわたり、地域の火災防除および治安の維持に貢献された。

この間、班長を歴任し、分団の連絡調整ならびに団員相互の融和に努められ、団の組織強化発展に尽くされた功績により、北海道知事表彰、北海道消防協会会長表彰などを受賞された。

これらの火災防衛活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。

開拓功労者八翁

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 東 | 儀 | 三 | 翁 |
| 鈴 | 木 | 勝 | 翁 |
| 新 | 津 | 繁 | 翁 |
| 幕 | 内 | 小 | 翁 |
| 岡 | 崎 | 公 | 翁 |
| 井 | 出 | 英 | 翁 |
| 荒 | 田 | 深 | 翁 |
| 前 | 田 | 金 | 翁 |



献花を捧げる参加者



謝恩祭の様子

開拓功労者 謝恩祭

九月十五日午前九時三十分から山手町頌徳碑前で「開拓功労者謝恩祭」が開かれ、開拓功労者八翁をたたえ、ご冥福を祈念し、出席者全員が献花を捧げました。



三好 喜美雄さん
北2丁目1番地7

平成6年、本別町議会議員に初当選以来、3期12年にわたり高邁な政治信念を持って町政に参画された。

町議会においては総務常任委員会副委員長等を歴任され、平成22年町議会議員を退くまで、まちづくりの推進に大きく貢献された。

また、昭和40年本別消防団第1分団入団以来、平成10年に退団されるまで31年の長きにわたり、地域の火災防除および治安の維持に貢献された。この間、班長、部長を歴任し、団の組織強化発展に尽くされた功績により、日本消防協会長表彰、北海道知事表彰などを受賞された。

さらに、各種公職を歴任され、本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



網島 公徳さん
仙美里元町35番地

昭和48年本別消防団第3分団入団以来、平成11年に退団されるまで26年の長きにわたり、地域の火災防除および治安の維持に貢献された。

この間、班長を歴任し、分団の連絡調整ならびに団員相互の融和に努められ、団の組織強化発展に尽くされた功績により、北海道知事表彰、北海道消防協会長表彰などを受賞された。

これらの火災防除活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



棚村 文子さん
向陽町33番地

昭和60年本別町交通安全指導員に委嘱され、今日まで24年の長きにわたり、定期的な街頭指導をはじめ、交通安全思想の普及と交通道德の高揚のために尽くされた。

特に、「交通安全は家庭から」を主眼とした実践的な指導方法により事故防止に努められており、これらの功績により平成22年に北海道善行賞を受賞されている。

また、平成7年から現在まで本別町公平委員会委員として活躍されるなど、本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



小林 道雄さん
南4丁目75番地2

昭和49年本別消防団第1分団入団以来、現在まで35年の長きにわたり、地域の火災防除および治安の維持に貢献されている。

この間、班長を歴任し、分団の連絡調整ならびに団員相互の融和に努められ、団の組織強化発展に尽くされた功績により、日本消防協会長表彰、北海道知事表彰、北海道消防協会長表彰などを受賞された。

これらの火災防除活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



方川 英一さん
美里別19番地10

平成10年、本別町議会議員に初当選以来、現在4期目を迎え高邁な政治信念を持って活躍されている。

町議会においては産業厚生常任委員会委員長等を歴任され、まちづくりの推進に大きく貢献されている。

また、本別町農業協同組合理事、本別町民生委員推薦会委員など多くの公職を歴任し、農業の振興と地域福祉の向上に努められ、町政の各般にわたり幅広く活躍いただいている。

これら献身的に尽くされた功績は、広く尊敬に値するものであり、本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



方川 一郎さん
西美里別270番地14

平成10年、本別町議会議員に初当選以来、現在4期目を迎え高邁な政治信念を持って活躍されている。

町議会においては、総務常任委員会委員長、議会運営委員長等を歴任。平成22年8月からは推されて町議会議長に就任された。

また、本別町農業協同組合代表監事、本別町酪農ヘルパー組合副組合長など多くの公職を歴任し、農業の振興にも尽くされ、町政の各般にわたり幅広く活躍いただいている。

現在も議会の最高責任者として議会改革に取り組み、町政の進展に尽くされた功績は誠に顕著である。



山田 裕實さん
仙美里360番地3

昭和46年本別消防団第3分団入団以来、平成17年に退団されるまで34年の長きにわたり、地域の火災防除および治安の維持に貢献された。

この間、班長、部長、副分団長、分団長を歴任し、分団の連絡調整ならびに団員相互の融和に努められ、団の組織強化発展に尽くされた功績により、日本消防協会長表彰、北海道知事表彰、北海道消防協会長表彰などを受賞された。

また、本別町自治会連合会理事として自治会活動の円滑な運営と充実発展に努められるなど、本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



山田 鶴雄さん
向陽町30番地

平成10年、本別町議会議員に初当選以来、現在4期目を迎え高邁な政治信念を持って活躍されている。

町議会においては、常に公正な判断と指導力によりまちづくりの推進に大きく貢献されている。

また、平成14年から現在まで本別町監査委員を務められ、適正で効率的な行財政運営に寄与されている。

さらに、本別町防犯協会連合会監事、向陽町自治会長など多くの公職を務められ、町政の各般にわたり幅広く活躍いただいている。

これらの功績は、広く尊敬に値するものであり、本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



森 洋子さん
新町12番地34

平成2年、本別町国民健康保険運営協議会委員に委嘱されて以来、20年の長きにわたり、地域住民の健康増進に寄与され、本町の国民健康保険事業の発展に大きく貢献されている。

また、昭和62年から現在まで本別町食品衛生協会理事および食品衛生指導員として、食品衛生思想の普及活動に尽力され、北海道国民健康保険団体連合会理事長表彰、日本食品衛生協会理事長表彰などを受賞している。

これらの功績は、広く尊敬に値するものであり、本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



角 誠さん
南4丁目91番地

昭和49年本別消防団第1分団入団以来、現在まで35年の長きにわたり、地域の火災防除および治安の維持に貢献されている。

この間、班長、部長、分団長を歴任し、分団の連絡調整ならびに団員相互の融和に努められ、団の組織強化発展に尽くされた功績により、日本消防協会長表彰、北海道知事表彰、北海道消防協会長表彰などを受賞された。

これらの火災防除活動を通じ本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



佐藤 千恵子さん
北8丁目5番地20

昭和62年本別町交通安全指導員に委嘱され、今日まで23年の長きにわたり、定期的な街頭指導をはじめ、交通安全思想の普及と交通道德の高揚のために尽くされた。

特に、「交通安全は家庭から」を主眼とした実践的な指導方法により事故防止に努められており、これらの功績により平成22年に北海道善行賞を受賞されている。

これら献身的な交通事故防止活動とその行動力は、他の模範とするところであり、本町の交通安全運動の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



佐川 逸雄さん
西美里別787番地2

平成10年、本別町議会議員に初当選以来、3期12年にわたり高邁な政治信念を持って町政に参画された。

町議会においては産業建設常任委員会委員長等を歴任され、平成22年町議会議員を退くまで、常に公正な判断と指導力によりまちづくりの推進に大きく貢献された。

また、本別町酪農ヘルパー組合組合長、都市計画審議会委員など多くの公職を務められ、町政の各般にわたり幅広く活躍いただいている。

これらの功績は、広く尊敬に値するものであり、本町行政の推進に寄与された功績は誠に顕著である。



浅草「仲見世」若大将による炭火焼煎餅の実演



「元気くん」も頑張りました



会場を沸かせた「歌謡ショー」伍代夏子 & 中西保志



熱気球体験試乗



家族連れも楽しめました



迫力満点、高さ6mの滑り台



イライラ棒に挑戦



牛乳の無料配布に行列ができました



今も健在。ノスタルジックカー



二〇一〇年四月いよいよスタート
プロトタイプサービス相談コーナー



大勢の来場者



チアリーディングチーム
「RED DIAMONDS」による演技



馬と触れ合いました



子供たちに大人気だった、「ドラえもん」ショー



本別きらめきタウン フェスティバル 2010

口蹄疫問題が影響し各地でイベントが中止する中、開催が危ぶまれた今年のきらめきフェスタ。実行委員の熱い思いが、そんな危機を乗り越えました。

本別最大のイベント第十四回本別きらめきタウンフェスティバル（実行委員会主催）が九月四日、五日の二日間、利別川河川敷地特設会場で開催されました。両日も好天に恵まれ、うまいもの市や友好都市小松島市物産市などで賑わいをみせたほか、初日には、今年十勝管内最後となる東十勝花火大会で四〇〇〇発の花火が初秋の夜空を彩り、二日目には、キャラクターショーや歌謡ショーで来場者を盛り上げるなど多彩な催し物を展開。今年、来場者により楽しんでもらうと会場全体に一体感を持たせたレイアウトに変更したこともあり、町内外から訪れた親子連れなど約三万五〇〇〇人は、観て・食べて・飲んで、過ぎ行く秋のひと時を満喫しました。



■■■ 夢風事業 ■■■

「ほんべつ学びの日の集い」

とき **11月20日(土) 午前9時**

ところ **中央公民館**

テーマ **「ほんべつ学びの日の活動の輪を広げよう!!」**

日程 9:00 9:25 11:18 11:28 11:33

ほんべつ学びの日 啓発セミナー	実践事例発表			本別中学校 吹奏楽演奏	閉会
開会・あいさつ、宣言 文朗唱・四つの風紹介	ミッチェル訪 問団派遣報告	子ども育成 関係者・教員	小・中・高校生		

発表内容

- ミッチェル訪問団派遣報告 ミッチェル訪問団18人
- 子ども育成関係者・教員による実践事例発表 子ども育成関係者2人、教員(仙美里小・勇足中)2人
子どもの育成に関わっている活動内容や活動を通して日ごろ感じている事、学校現場を通して本別町の教育や地域の取り組みで感じた事などについて発表します。
- 小学生・中学生・高校生による実践事例発表
勇足小学校2人、本別中学校2人、仙美里中学校2人、本別高等学校2人
学校や子供たちが地域との関わりの中で取り組んでいる総合的な学習やキャリア教育、インターンシップ研修、ボランティア活動などの事例について発表します。

お問い合わせ 町教育委員会 ☎ 22-2331

「4つの風」を 吹き渡らせよう

将来を担う子供たちの健やかな精神と豊かな心を育むために家庭、学校、地域が手を取り合い、大人と子どもと一緒に日々学ぶ。そんな想いを込め、平成19年9月11日に宣言された「ほんべつ学びの日」。

これまでの間、特定の日を定めず、日々学ぶことに重点をおいた年間を通した取り組みと、本別ならではの「学び」を「光風、祈風、夢風、実風」の4つの風にたとえた、様々な事業を展開してきました。

「いいまち」をつくるためには、まちの未来を担う元気な子供たちの姿を欠くことはできません。学びの日の趣旨や必要性について、町民のみなさんのご理解をいただきながら、今後もさらなる活動を推進していきますので、各種事業に多数の参加をお願いいたします。

光風 子どもが元気で光輝ける風
祈風 郷土や家族を愛し、
平和や命を大切にす風
夢風 だれもが夢を持てる風
実風 健康な身体や
食べ物の実りに感謝する風



光風事業
みんなで「おはよう」のあいさつ運動

詳しくは
住民課戸籍年金担当へ
☎22-8128

申請は役場住民課戸籍年金担当窓口
および帯広年金事務所で行ってください。
なお、申請の際には公的機関の証明書のほかに①年金手帳または基礎年金番号のわかるもの②印鑑③他の市区町村から転入された人は、前年の所得を証明するものをお持ちください。

	申請者(本人)の前年度所得	配偶者の前年度所得	世帯主の前年度所得
一般の免除申請	審査対象	審査対象	審査対象
申請者(本人)が失業したことによる特例申請	審査対象外	審査対象	審査対象

※配偶者または世帯主が失業した場合にもそれぞれ所得審査対象外となります

※1 免除を申請する日の属する年度またはその前年度に失業(離職)された人が対象です
※2 「雇用保険受給資格者証」「雇用保険被保険者離職票」「離職者支援資金の貸付決定通知」など



国民年金には保険料納付が困難な人で本人、配偶者、世帯主の前年度の所得が一定額以下の人が申請すること、国民年金保険料が免除される制度があります(一部納付制度もありますが、この場合は保険料の一部を納付しなければ未納となります)。
ただし、失業※1、倒産※1、事業の廃止※1、天災などが原因で所得が無くなったことにより国民年金の保険料が納付できない人は、その事実が確認できる公的機関の証明書等※2の写しを添付していただくと、その人の前年度所得は審査対象外となります。

国民年金保険料には、退職(失業)による特例免除があります

国民年金
コ
ー
ナ
ー

その102

本別町農産物加工施設 あり方検討会

地場の農畜産物を活用し、新たな商品開発とにぎわいのある中心市街地の活性化、農・商・工業、観光の振興を目指す本別町農産物加工施設のあり方検討会（三枝金作会長、十三人）第三回が八月二十六日、第四回が九月十七日、役場で開かれました。

本別産の農畜産物で作った物が、安全安心でおいしいと感じてもらいたい

二回の会議では、施設内に配置予定の「農産加工室」「肉加工室」「乳製品加工室」への備品購入と施設の活用方法について話し合いがされました。

備品購入については、委員からの「せっかく施設を作るのであれば、設備を充実させたほうがいい」との意見が出されたのに対し、「先の見通しがないのに、莫大な経費をかけるのか」

といった費用対効果についてや「施設の維持管理経費はどうするのか」などの慎重論も。これらの意見を受け事務局では、最新機器でそろえた場合、必要最低限の備品で約三千万円かかるが、不必要なものについては今後検討して除いていくことを説明。

施設の活用方法について、実際に農産物加工に携わる委員は



「費用対効果を考えると販売を目的に施設を活用するのは非常に厳しい現実がある」「利用者となる町民が客観視している感



じを受ける」などと指摘。一方「講習会などのソフト事業の展開で利用率は向上する」「学校授業を取り入れ、食育の推進が図れる」などのほか、「本別産の農畜産物で作った物を、町民に広く食べてもらいたい。安全安心でおいしいと感じてもらいたい」といった意見もかわされ

ました。そういつた意見の中、同席した砂原勝副町長は、九月七日に町議会に提出された、農産物加工施設建設中止を求める請願書について触れ、「町として現段階では、予定通り設計に向けて

取り組んでいく」と町としての考え方を示しました。

第一回会議で「町民にあって良かったと思われる施設を目指す」ことで始まったこの検討会。次回会議では、今まで出された様々な意見をまとめる作業に移ることを確認しました。



備品購入等について説明する事務局

本別町農商工連携 人材育成セミナースタート

地域が一体となって

本別町の豊かな農畜産物を生かした加工品で新たな産業作りを目指す、第1回本別町農商工連携人材育成セミナーが9月23日、中央公民館で開催されました。

「地域らしい食文化～地元学」をテーマに民俗研究家・宮城教育大学非常勤講師の結城登美雄さんが、「北海道らしさブランドづくり～北海道！食べ物のこだわり」をテーマに株式会社北海道宝島旅行社代表の鈴木宏一郎さんが講演。

講演の中で2人は、農商工が連携していくためには、「食べる力と作る力が融合すること」「地域資源を活用し、地域が一体となって取り組むこと」が大切であると述べ、町内外の生産や販

売などに携わる32人の参加者は真剣な眼差しで話に耳を傾けていました。

同セミナーは来年2月まで6回開催されます。



講演する結城さん

認知症の人と 共に暮らす町づくり

十勝ブロック研修会



認知症の人と共に暮らす町づくり十勝ブロック研修会（北海道認知症の人を支える家族の会十勝ブロック主催、本別町在宅介護者を支える会主管）が九月六日町体育館で開催され、「認知症の理解」と題した町国保病院藤沢明徳副院長による講演や体験発表などが行われました。

藤沢副院長の講演では、物忘れについて、ヒントをもらって思い出せるのは老化、思い出せないのが認知症とし、いったん正常に発達した知的機能が持続的に低下し、複数の認知障害があるために社会生活に支障をきたすようになった状態が認知症であると話しました。また、いくつかに分類される認知症の脳の状態を、それぞれのMRI写真を用いて説明。認知症を患うと、コミュニケーションが取れなくなり、周りとの壁を作ってしまう傾向があるので、ゆっくり丁寧に話しかけ、関心を別のものに向かわせるなど、気持ちを紛らわせるようにしましょう。と認知症患者さんとの接し方についてアドバイスをしました。



体験報告をした三井さん（左）と遠山さん（右）

講演の後、町地域包括支援センター所長補佐から「もの忘れ散歩のできる町ほんべつを目指して」と題し、事業報告が行われたほか、町内で在宅介護を行っている遠山文子さん、三井誠子さんから、実体験報告が行われ、町内外から集まった約二〇〇人は、認知症の人と共に暮らすヒントを学びました。



こころの健康づくり 講演会



九月三日に町体育館で、こころの健康づくり講演会が開催されました。これは、町が今年度から二年にわたって実施する「心の健康づくり事業」の一つで、「かけがえない命をみんなでも守ろう」と題し、医療法人社団五輪橋産科婦人科小児科病院の丸山淳士名誉理事長が講演しました。

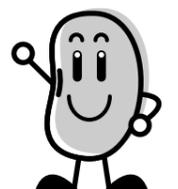
丸山先生は、自殺は脳の病気にし、それに起因するうつ病について、体内時計である脳の松果体が狂ってしまうことが原因であり、周りの人がいち早く気づき、早く病院に連れていくことが重要。また、うつ病を患うと、体内の時間が早く進む傾向があると話し、ゆとりのある生活を心掛けることで心も健康になるので、オシャレやスポーツ、読書などにたづぶりと時間を使い、笑顔を絶やさないことが大切と、うつ病予防の秘訣を話しました。会場を訪れた約八十人は、テンポの良い講演に引き込まれながら心の健康について学びました。



かけがえない命を
みんなでも守ろう

本別町全域(本別市街地の 公共下水道区域を除く)で

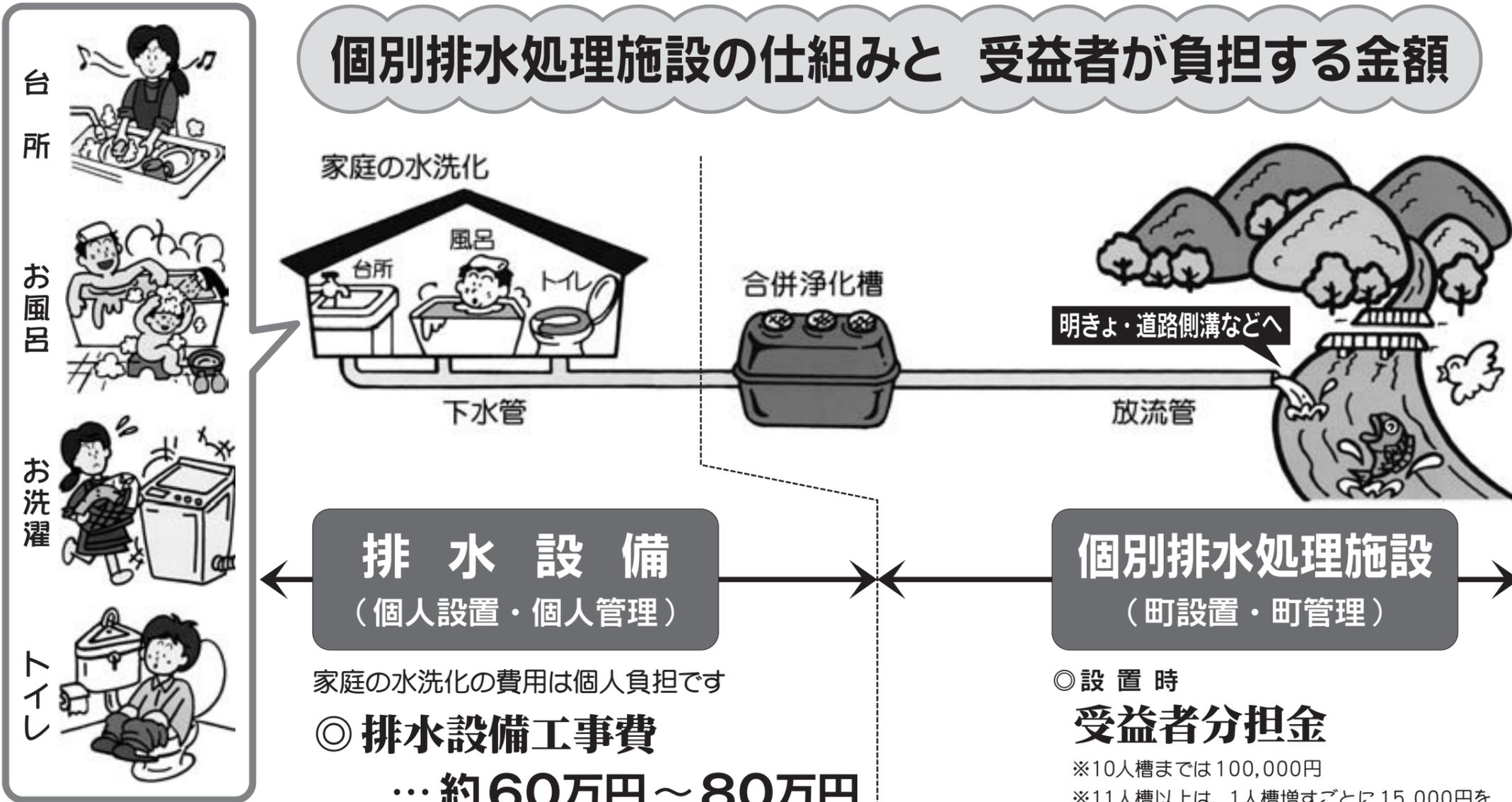
合併浄化槽が設置しやりかた



平成十一年度から農村部に合併浄化槽を設置する事業を実施してきましたが、平成十七年度から農村部に加え、勇足元町・仙美里元町・上本別地区も設置できるようになりました。トイレの水洗化によって、より快適な生活環境を目指すほか、家庭から出る生活排水を浄化して公共用水域の水質の汚れやにごりを防止するのが目的で、合併浄化槽は個人下水道とも呼べる恒久的な施設です。合併浄化槽が設置できる地域は、本別市街地の公共下水道区域を除く本別町全域で、これによりすべての町民(公共下水道区域の未整備区域を除く)がトイレの水洗化および生活排水の処理が可能になります。

平成23年度に設置を希望する人は、平成22年10月末日までにお申し込みください

個別排水処理施設の仕組みと 受益者が負担する金額



排水設備
(個人設置・個人管理)

家庭の水洗化の費用は個人負担です
◎ 排水設備工事費
…約60万円～80万円

(トイレの改造、給水、屋外排水管などの工事で、家の間取り、便器の種類などにより異なります)

排水設備工事の融資制度
(住宅1戸につき便器2基まで)

区分	金額	適用
融資制度	60万円以内 (便器1基につき)	月1万円の均等償還 (無利子)

新築の場合は該当となりません



個別排水処理施設
(町設置・町管理)

◎設置時
受益者分担金
 ※10人槽までは100,000円
 ※11人槽以上は、1人槽増すごとに15,000円を100,000円に加算した額となります
 (翌年度から年4期、5年分割の20回払い)

◎設置後
 ●使用料(毎月)

浄化槽の汲み取り・点検は町で行います
5人槽…3,095円
7人槽…3,872円
10人槽…5,020円
11人槽以上…10人槽の料金に1人槽増すごとに420円を加算した額

●電気料(毎月)……約800円～1,800円
 (5人槽～10人槽の場合)
 浄化槽内のばっ気のためのもので浄化槽の規模により異なります

お申し込み
お問い合わせは
建設水道課
水道・下水道担当
☎22-8122

平成22年度

新型インフルエンザ ワクチン接種を開始します

昨年八月末から本町にもまん延した新型インフルエンザは、秋から開始した予防接種やうがい、手洗いなどの予防対策の励行により、最小限の感染にとどめることができました。現在は感染の報告もなく沈静化していますが、冬に向けたまん延防止のため十月から新たな新型インフルエンザワクチン接種を実施します。今後も日ごろからのうがいや手洗いを心掛けましょう。

今年3価ワクチンを使用します

昨年までの季節性インフルエンザワクチン（A/H3N2、B型）に新型インフルエンザを含めた「3価ワクチン」を使用します。これにより季節性と新型を同時に接種することができ、経済的・身体的負担が最小限となります。

● ワクチン接種 ●

接種対象者は全町民

接種対象者は全町民です。ただし1歳未満の乳児については、接種を行っても十分な免疫をつけることが困難と言われていることから、保護者が接種を強く希望する場合のみ行うことができます。

接種回数

- 12歳以下は2回接種です。
- 望ましい接種間隔は、1週間から4週間です。
- 13歳以上は1回の接種です



接種場所・接種日等

接種場所	接種月日(曜日)	接種時間
病・医 院	町国保病院 予防接種外来	10月20日(水)から 月・水・木曜日 午後3時30分～午後4時30分 →再来機受付は午前11時45分～午後4時30分
	幡医院	10月18日(月)から 月・水・木曜日 午前9時～午前11時30分 午後1時30分～午後5時 (木曜日は午前中のみ)
公 共 施 設	健康管理センター	11月2日(火) 11月16日(火) 11月24日(水) 12月2日(木) 午後2時30分～午後3時30分 →受付は午後2時15分～午後3時15分
	仙美里地区公民館	11月5日(金)
	勇足地区公民館	11月9日(火)

※12歳以下の人については、町国保病院小児科外来での接種を原則としますので、接種時間等は、申し込み時に確認ください
 ※中学生以下の人については、保護者同伴を原則とします
 ※申し込み多数の場合はご希望に添えない場合がありますが、ご了承願います

● ワクチン接種料金 ●

個人負担額は

自己負担額は2,000円です。ただし、乳幼児から高校生までと65歳以上は1回につき1,000円です。なお、次の人には助成制度があります。

町民税非課税世帯に属する人は、すべての対象年齢において無料です。

- 町民税非課税世帯の助成を受けるには事前に申請が必要となりますので、接種希望日の1週間前までに、印鑑を持参の上、次までお越しください
- 役場保健福祉課(北2丁目) ☎22-8130
- 健康管理センター(北6丁目) ☎22-2219
- 事前に非課税申請の手続きをされていない場合は、窓口で課税世帯分の自己負担額をお支払いいただきます

対象年齢	接種回数	自己負担額	
		非課税世帯	課税世帯
12歳以下(乳幼児・小学生)	2回	無料	1,000円
13歳～18歳(中学生・高校生)	1回		1,000円
19歳～64歳	1回		2,000円
65歳以上※	1回		1,000円

※60歳以上65歳未満で、心臓・腎臓または呼吸器の機能に日常生活が極度に制限される程度の障がいや有する人(おおむね身体障害者手帳1種1級)も含まれますので、接種時に身体障害者手帳を提示ください

町外での接種は

町外の病・医院、老人保健施設や老人ホームなどで接種された人で助成対象の場合は償還払いをしますので、予防接種の領収書と予防接種済み証、印鑑をお持ちの上、健康管理センターで手続きください。(接種料金は一度全額をお支払いいただき、後日、自己負担額を差し引いた額をお支払いします)

● お申し込み方法 ●

申し込み期間 10月7日(木)から11月30日(火)まで

申し込み方法 接種希望日の2週間前までに、電話か来所し、次まで申し込みください

申し込み先および受付時間

- 町国保病院 ☎22-2025 午前9時～12時、午後1時～午後5時
- 幡医院 ☎22-2535 午前9時～午前11時30分、午後1時30分～午後5時
- 健康管理センター ☎22-2219 午前8時30分～午後5時15分

● 予診票の記入 ●

予診票は接種前にご記入いただき、当日ご持参願います。用紙は町国保病院、幡医院、役場保健福祉課、健康管理センターに設置してあります。

インフルエンザやワクチン接種に関するお問い合わせは健康管理センターまで
TEL 22-2219 FAX 22-2916

町ホームページ お知らせ-新型インフルエンザ

<http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp>

◆ 職員に対する手当の状況

① 期末手当・勤勉手当

	本別町		国	
	期末手当	勤勉手当	期末手当	勤勉手当
1人当たり平均支給額(平成21年度)	1,417千円		-	
平成21年度支給割合	2.75月分 (1.5)月分	1.40月分 (0.7)月分	2.75月分 (1.5)月分	1.40月分 (0.7)月分
加算措置の状況	職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・本町は未支給		職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算5~20% ・管理職加算10~25%	

(注) ()内は、再任用職員に係る支給割合である。

② 退職手当

(平成22年4月1日現在)

支給率	本別町		国	
	自己都合	勤奨・定年	自己都合	勤奨・定年
勤続20年	23.50月分	30.55月分	23.50月分	30.55月分
勤続25年	33.50月分	41.34月分	33.50月分	41.34月分
勤続35年	47.50月分	59.28月分	47.50月分	59.28月分
最高限度額	59.28月分	59.28月分	59.28月分	59.28月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置(2%~20%)		定年前早期退職特例措置(2%~20%)	
1人当たり平均支給額	18,888千円			

(注) 退職手当の1人当たり平均支給額は、前年度に退職した全職種に係る職員に支給された平均額である。

③ その他の手当(普通会計)

(平成22年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績(平成21年度決算)	支給職員1人当たり平均支給年額(平成21年度決算)
扶養手当	配偶者 13,000円 扶養親族たる子および父母等1人につき 6,500円 職員に配偶者がいない場合1人 11,000円 扶養親族たる子15歳から22歳まで 5,000円加算	同じ		17,727千円	206,128円
住居手当	[借家] 月額16,000円以下の家賃⇒家賃の月額-5,500円 月額16,000円を超える家賃⇒(家賃の月額-16,000円)の2分の1(2分の1限度額9,500円)に10,500円に加算 [持家] 月額15,000円以内(新築10年間2,000円加算) 新築20年経過以降 月額10,000円以内	異なる	[借家] 借家限度額 27,000円 [持家] なし	18,522千円	171,500円
通勤手当	[交通機関利用] 月額限度額 50,000円 [交通用具利用] 片道5km未満 2,000円 5km以上~10km未満 4,100円 10km以上~15km未満 6,500円 15km以上~20km未満 8,900円 20km以上 11,300円	異なる	[交通機関利用] 55,000円 [交通用具利用] 20km以上60kmまで5km刻みで支給額を設定	1,773千円	45,462円
管理職手当	12% 院長、副院長、医長 9% 主幹 10% 課長、室長、事務局長 8% 課長補佐、次長	異なる	課長 職定額 課長補佐 職定額	11,459千円	440,731円
夜勤手当	25%増し	同じ		130千円	43,333円
宿日直手当	1回 4,200円	同じ		1,198千円	99,833円
寒冷地手当	[世帯主] 扶養親族のある職員 131,900円 扶養親族のない職員 72,900円 [その他の職員] 51,700円	同じ		14,170千円	103,431円

◆ 特別職等の報酬等の状況

(平成22年4月1日現在)

区分	給料または報酬の月額	期末手当の支給割合
給料	町長	747,000円
	副町長	616,000円
	教育長	562,000円
報酬	議長	292,000円
	副議長	230,000円
	議員	185,000円

6月 1.95月分
12月 2.20月分 合計4.15月分
加算措置：当分の間支給停止

職員の給与等に関するお問い合わせ先
総務課庶務担当 ☎22-8120

公平性・透明性を目指して

町のホームページ <http://www.town.honbetsu.hokkaido.jp/> でもご覧になれます

本別町職員の人事行政の運営等の状況を公表します

公務員制度の公平性、透明性の確保などを目的に給与等の状況のほか人事行政の運営等、各市町村の制度がどのようになっているかを公表することが地方公務員法で義務付けられています。町民の皆様に町職員の給与などの概要をお知らせいたします。

◆ 職員の平均給料月額、平均年齢の状況

一般行政職 (平成22年4月1日現在)

区分	平均給料月額	平均年齢
一般行政職		
大学卒	331,900円	42.8歳
短大卒	335,800円	44.5歳
高校卒	351,000円	45.8歳
中学卒	340,600円	47.3歳
全平均	343,200円	44.8歳

(注) 「平均給料月額」とは、平成22年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。

◆ 一般行政職の職級別職員数

(平成22年4月1日現在)

区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	前年度(平成21年4月1日現在)	
				職員数	構成比
1級	主事、技師、主事補	5人	4.6%	3人	2.8%
2級	主事、技師	3人	2.8%	7人	6.4%
3級	主査、副主査、主任	40人	37.0%	40人	36.7%
4級	主査、副主査	31人	28.7%	31人	28.4%
5級	課長、室長、課長補佐	17人	15.8%	16人	14.7%
6級	課長、室長	12人	11.1%	12人	11.0%
合計		108人	100.0%	109人	100.0%

(注) 1 本別町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。
2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。
3 平成19年度から6級制に移行。

◆ 職員の初任給の状況

(平成22年4月1日現在)

区分	本別町		国		
	初任給	2年後の給料	初任給	2年後の給料	
一般行政職	大学卒	172,200円	184,200円	172,200円	184,200円
	高校卒	140,100円	148,500円	140,100円	148,500円

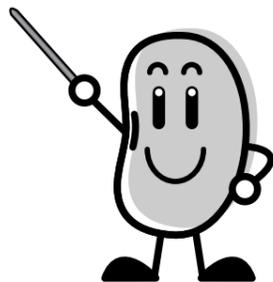
◆ 職員の給与の状況

人件費の状況(普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口(平成21年度末)	歳出額A	実質収支	人件費B	人件費率B/A	(参考)平成20年度の人件費率
21年度	8,449人	6,936,944千円	90,105千円	1,377,979千円	19.9%	19.9%

第六次本別町総合計画

Part17



新しい本別町の姿『次なるステージをめぐりながら』

新しいまちづくり計画の策定にあたって、日本を取り巻く社会状況の変化、本別町が抱える課題を次の通りとらえました。

本別町の主要課題

1. 新たな仕事 づくりの創造

暮らしやすさ、生活重視の視点でまちづくりを進めていくことが重要ですが、活力ある本別の創造のためには、経済基盤の確立が大きな課題とらえています。
地域資源を最大限に活用して産業の振興を図り、雇用を確保し、町民所得の向上を実現することが大きな課題です。



日本を 社会状況	取り巻く の変化
地域主 少子高齢化、 環境と 高度情報化	権改革 人口減少社会 の共生 社会の進展

2. 少子高齢化、 過疎化の進展

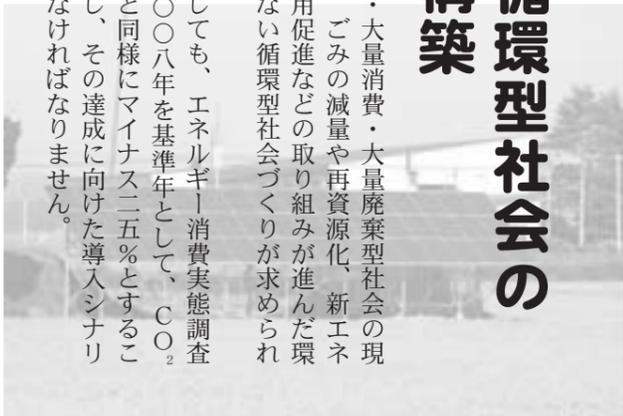
若者の町外転出、出生率の低下、高齢化の進展が重なり人口減少の流れが激しくなっているのが現状です。少子高齢化、過疎化の進展は、自治体の行政基盤の弱体化、ライフスタイルの変化などを引き起こし、地域コミュニティの活力低下が懸念されます。



4. 循環型社会の 構築

大量生産・大量消費・大量廃棄型社会の現状を見直し、ごみの減量や再資源化、新エネルギーの利用促進などの取り組みが進んだ環境負荷の少ない循環型社会づくりが求められています。

本別町としても、エネルギー消費実態調査を行った二〇〇八年を基準年として、CO₂削減率は国と同様にマイナス二五%とすることを目標とし、その達成に向けた導入シナリオを検討しなければなりません。



3. 高速自動車道路網、 高速通信網の活用

平成二十三年度には、道央圏と十勝圏が全線開通します。さらに、本別―釧路間の完成により、釧路・道央圏との経済交流が飛躍的に促進される事が期待できます。
本別町にとって、道央との接続を交流人口の拡大や地域経済の活性化に結びつけ、十勝・本別の将来につなげていくことが重要です。

また、世界的にインターネットを活用した通信情報網が急速に発展している中であって、情報が価値を生む社会であり、情報流通の高速化への対応が重要となっています。

本町においても、公平に、また簡単な使い方、必要な情報を必要な時に、安心・安全に利用できる環境を構築するため、平成二十二年に国の地域情報通信基盤整備促進交付金（ICT交付金）を活用し、町内に存在するブロードバンド・ゼロ地域を解消することを目的とした光ケーブルによる高速通信網の整備を進めております。住民生活や産業、観光、医療、教育など多様な分野へ積極的に活用しなければなりません。

5. 地産地消の取り組み

食をめぐる多くの問題から、食への関心が高まっています。「食」は生命の源であり、健康に密接なかわりを持っています。この「食」を支えるのは「農業」です。地産地消運動は、単に「地場産品の消費拡大運動」という面だけではなく、「産地と食卓の交流」や「健康的な食生活の実現」、「旬と食文化への理解」、「環境保全」、「地域の活性化」など、色々な役割を持っています。

本別町で生産されたすべてのものを町民自らが、積極的に購入、消費することが必要です。
さらに、直売所や地元商店、食堂等での地場農畜産物、加工品などの販売や提供、学校給食、福祉施設、観光施設等での使用を積極的に行わなければなりません。

総合計画についての問い合わせ

企画振興課 企画・生涯学習担当 ☎22-8121

HELLO 本別中学校

教育目標
 力行 力いっぱい学ぶ生徒
 方正 真面目に考え行動する生徒
 錬磨 身も心も鍛える生徒

「本別学びの日」～光風・実風の中で～
 地域と共に歩み、地域の風が行き交う学校づくり



2学年キャンプ



総合的な学習の時間「介護・福祉」



1学年職場体験



中体連大会



体育祭「女子おおむかで競走」



ミツチエル訪問団来校



義経の会「ボランティア活動」



3学年修学旅行

文化祭 十月三十一日(日)開催

学校祭テーマ「魂く新たな挑戦」のもと
 生徒一五七人の力が結集した最高の舞台へ

本別中学校では生徒やPTAの活躍を学校だより、ホームページ等で発信しています。今年度もあと半期となりましたが、文化祭・地域参観日・本中強歩・吹奏楽部定期演奏会など地域公開の行事がたくさんあります。ぜひ生徒の活動のようすをご覧ください。皆様のご来校を心よりお待ちしております。
 ホームページアドレス <http://honbetsujhs.web.fc2.com/>

みんなの健康

314

骨粗しょう症の薬（B
 P系製剤）を飲んでい
 ので抜歯できないとかか
 りつけの歯科で言われた
 経験は
 ありま
 すか？
 あくま
 でも治
 療ガイ
 ドラインですが、抜歯な
 どの外科処置前三か月の
 休薬が推奨されます。と
 いうのも、二〇〇三年、
 米国でB P系製剤を投与
 された患者さんに顎骨壊

歯が抜けない事 があります…

六七・九・一％という報
 告があります。骨粗しよ
 う症は病気ではなく、加
 齢に伴う現症なのでど
 たにも起こりうること
 です。

歯槽膿漏等日ごろの口
 腔ケアをしつかりとして
 おくことがとても大切に
 なります。

医療法人社団
 本別歯科医院
 理事長 磯村治男

足寄町

大収穫祭・秋の物産市

足寄町の農産物や特産品を生産者が自ら販売し、足寄町の味覚をPRします。

□とき 10月17日(日)

午前9時～午後2時

□ところ あしよる銀河ホール21イベント広場

□内容 野菜や豆製品、チーズやラワンぶき、手作りパン、漬物などの販売

陸別町

第49回陸別町文化祭

□とき 10月31日(日)～

11月3日(水)

□内容

○行事部門

- ・ふるさとの遺跡を歩く（陸別チャシと津別チャシ）10月31日(日) 午前10時～午後3時
- ・婦人会ホフンティアバザール（保健センター）10月31日(日) 午前11時～午後2時
- ・陶芸ボランティアセール（役場庁舎1F）

- ・フリーマーケット
 - ・じゃがいもの無料試食
 - ・どん豆加工実演
 - ・オガカラーによるお絵かき教室
 - ・足寄ウオーキングラリー
- あしよる銀河ホール21を発着点にして総合体育館、里見が丘公園キャンプ場、足型親水公園を巡ります。ラリー参加者にはコーヒートレットグループで焼いたピザをプレゼントします。
- 詳細 あしよる観光協会
 ☎2516131

○展示部門（タウンホール・1Fロビー・2Fホワイエ）

- ・文化協会所属サークル展・協賛団体出品作品展など
 - ・一般募集作品展（美術・写真・書道・手芸・工芸）
- 10月31日(日)～11月2日(火)
 午前9時～午後6時

○舞台部門（タウンホール）

- ・芸能発表 11月3日(水) 午後6時～
- お問い合わせ 陸別町教育委員会
 ☎2712123



地域貢献活動に汗 8/22

本別建設業二世会（佐藤貢会長）が8月22日、本別公園のつつじの木の下に雑草が生えるの防ぐための火山灰を敷く作業を実施しました。これは、地域貢献活動の一環として行われたもので、参加した11人はスコップなどを使いながらの作業に汗を流しました。



たくさんの善意が寄せられました 8/28

本別町昭和29年^{うま}午年会（久能利幸会長）が8月28日、道の駅★ステラほんべつでチャリティーイベントを実施しました。これは、民放チャリティー番組に協賛し行われたもので、会場で販売された焼き鳥やどん菓子などの売り上げ金の一部とチャリティーオークション落札代金、たくさんの人からの善意の募金合わせて111,784円が寄付されました。



本別ブラスアンサンブル 定期演奏会 8/28

本別ブラスアンサンブル（唯野靖紀会長）による第25回定期演奏会が8月28日、道の駅「ステラ★ほんべつ」で開催されました。3部構成のステージでは、時代劇やドラマのテーマ曲などアンコールを含め14曲が演奏され、会場に響き渡る力強い音色に、友人や家族など約60人から温かい拍手が送られました。



本別町史 編さん委員会 8/31

平成23年度発刊に向けた第1回本別町史編さん委員会が8月31日、役場で開催されました。委嘱状の交付後、互選により委員長に吉井誠さん、副委員長に井出智子さんが選任され、開町110年に向けた「本別町史（110年史）」（仮称）の編さんがスタートしました。



簡単おやつ作り 8/26

家庭教育支援事業「なかよし」による簡単おやつ作りが8月26日、健康管理センターで開催されました。この日は、参加した13人のお母さんたちが3つのグループに分かれ、「フルーツのゼリーかけ」「プチパン」など4種類のおやつを、わが子のために愛情を込めて作りました。



民謡三味線発表会 8/28

第34回民謡三味線発表会（町文化協会、中央公民館主催）が8月28日、中央公民館で開催されました。発表会には、町内で活動する民謡三味線愛好家で構成される8団体40人が参加し、尺八や三味線の伴奏で日ごろ鍛えた歌声を披露。会場を訪れた観客約150人から、大きな拍手や声援が送られました。



老人ホーム夏まつり 8/29

町老人ホームの「ふれあいまつり」が8月29日、同ホーム駐車場で開かれました。太鼓演奏や地域のボランティア団体等による踊りなどが披露されたほか、ヨーヨーすくいやフリーマーケット、焼き鳥やポップコーンなどの屋台も並ぶなど、約250人の参加者はお祭り気分を味わいました。このお祭りは、施設利用者とその家族、地域の人との交流を目的としたもので、同施設の恒例行事となっています。



元気に「おはよう」 9/6~30

町子どもを育む環境づくり推進会議（三井孝寿会長）によるみんなで「おはよう」のあいさつ運動が9月6日から9月30日までの期間、町内9か所で実施されました。登校時に合わせて行われた同運動には、教育関係者や自治会関係者などの同会議会員が通学路に立ち、通学する児童、生徒たちに大きな声で「おはよう」と声を掛けていました。



情報を広報担当へお寄せください 022-8121

ぱまキッズまつり 9 10

家庭教育支援事業「なかよし」による「ぱまキッズまつり」が9月10日、子育て支援センターで開催されました。紙で作った手作りのいすやアンパンマンのパタパタ人形、おかしくじ等のたくさんのお店に、子供たちは大喜び。育児支援サークルの竹とんぼやすーとぼと、ママレモンによる紙芝居や人形劇なども行われ、参加した46組92人の親子は楽しい時間を過ごしました。



太陽の丘 パークゴルフ大会 9 12

第4回太陽の丘パークゴルフ大会（本別町、町教育委員会主催）が9月12日、太陽の丘パークゴルフ場で開催されました。帯広市や音更町など町内外からの参加者69人は、起伏に富んだコース54ホールで自慢の腕を競い合いました。成績は次の通り。※本別町分

- 【男子】第3位 月井 正さん（北6丁目）
 【女子】優勝 西尾敏江さん（弥生町）
 準優勝 山本陽子さん（北3丁目）
 第3位 加藤順子さん（向陽町）



華麗な演舞を披露 9 12

剣武詩舞居合道演武会（神刀流北海道本部主催）が9月12日、中央公民館で開催されました。三部構成の舞台では、居合刀やせんすなどを使用した華麗な演舞を披露したほか、本別バレエ研究会や本別義経太鼓保存会も賛助出演するなど、趣向をこらした演出に、会場を訪れた約120人から温かい拍手が送られました。



日ごろの練習の成果を披露 9 14

第10回カラオケと芸能の夕べ（仙美カラオケ同好会主催）が9月14日に仙美里地区公民館で開催され、カラオケや舞踊、フラダンスなど、日ごろの練習の成果を披露しました。これは、仙美里地区の皆さんの交流を目的に毎年行われているもので、今回は32組が出演。演目が終わるたび、会場には拍手が響きわたっていました。



秋風を切り快走 9 11

第36回子どもサイクリングの集い（本別町地域子ども会育成連絡協議会主催）が9月11日に開催され、参加した小学1年生から高校3年生までの子どもと一般の参加者など44人は、中央公民館から美里別地区公民館までの往復約32kmを元気に秋風を切りながら自転車で快走しました。昼食は美里別地区公民館で焼肉を食べるなど楽しい一日を過ごしました。



生活・介護サポーター養成研修 9 12

勇足地区生活・介護サポーター養成研修が9月12日、勇足地区公民館で開催されました。20人の参加者は、町の福祉施策や地域での様々な福祉活動の現状について受講。研修期間は5日間で、全日程修了後、町社会福祉協議会へ登録し、町内の高齢者や障がいのある人への助け合い活動を実施していきます。9月23日からは、仙美里地区でも同研修がスタートしました。



全道大会で健闘 9 13

予選を勝ち抜き9月18日、19日に深川市で開催される全道大会に出場する本別中央ジャンプスポーツ少年団（廣田健一代表）が9月13日、教育委員会を訪れ全道大会出場の報告をしました。選手たちは「みんなで声を掛け合ってサーブで攻めて上位に入りたい」「行動と礼儀をしっかりしたい」などと意気込みを語り、澤田教育長は「練習の成果を発揮できるよう、体調を万全にして頑張ってください」とエールを送りました。全道大会では全力を出し切り健闘しました。



見違えるほどきれいになりました 9 18

富士工業株式会社（岡田清治社長）の社員15人が9月18日、地域貢献活動の一環として水道橋周辺の清掃と欄干のさび取りおよび塗装作業を実施しました。清掃された橋梁周辺と色を塗られた欄干は、見違えるほどきれいになりました。



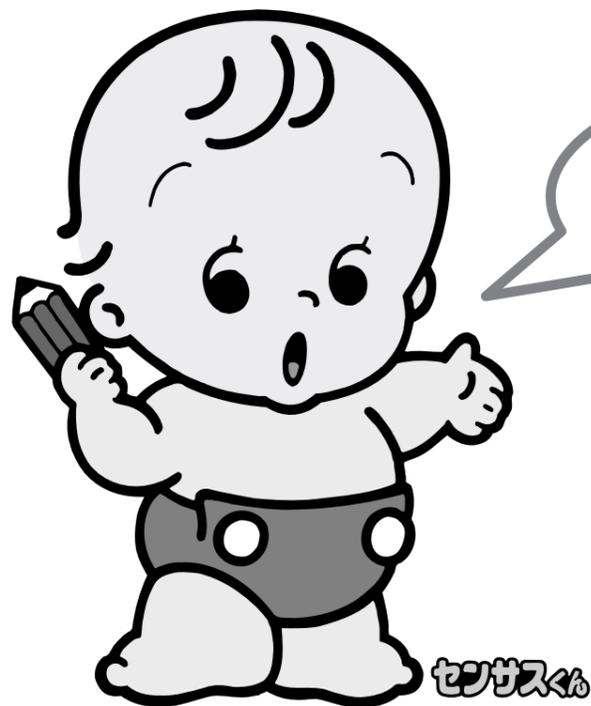
平成22年10月1日

国勢調査

10月1日現在、住民登録をしている、していないにかかわらず本別町内に3か月以上住んでいる人、または住む予定のある人が対象です。

☆「国勢調査調査票」には10月1日現在の状況を記入してください

☆ 調査票の提出は郵便もOK
※郵便によらない場合は、調査員にお渡しください



みなさんのご協力をお願いします

国勢調査についての問い合わせ
企画振興課 広報電算担当
☎ 22-8121

未来に輝く 子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。お父さん、お母さんのたくさんの愛で包まれてくすくす元気に育ってね！



山手町
濱本真生
(綾々)



錦町
杉本佳奈
(希々)



北3丁目
安達友悟
(智々)



西仙美里
大木拓磨
(明々)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

友好都市 徳島県小松島市へ職員派遣

企画振興課 留田桂史主任(35)が友好都市・徳島県小松島市へ職員の資質向上と交流を目的に研修生として派遣されました。研修期間は10月1日から12月28日までの3か月間。本町からは7人目です。



ご寄付ありがとうございます 平成22年8月18日から9月9日

- 次の通りご寄付をいただきました。紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)
- ★本別町指定
公用車両 1台 本別ライオンズクラブ 会長 野田 仁
公用車両 1台 …… 南1丁目
富士工業株式会社 代表取締役 岡田 清治
 - ★本別町老人ホーム指定
スイカ 10玉 本別町中央自治会連合会 会長 三枝 金作
ボックスティッシュ 180箱 福島県 大澤智紀・好美
トウモロコシ 100本 …… 勇足東3 河合 宏
ジャガイモ 20kg …… 負籠1 前佛 正道

- 紙おむつ 600枚 …… 北7丁目 森原 耕一
- ★本別町国民健康保険病院医療施設等整備基金指定
金100,000円 …… 勇足西2 吉田 昌子
金100,000円 …… 北7丁目 森原 耕一
- ★本別町産業振興基金指定
金200,000円 …… 南1丁目 河原 國夫
- 個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付
- ★日本一の豆を生かした農産物加工体験施設整備事業
金100,000円 …… 南1丁目 河原 國夫
- ★資料館特別展示「わが町の七月十五日展」開催事業
金30,000円 …… 北見市 山内 一夫
北見市 新保サチ子
札幌市 北島ミチ子

お誕生

8月後半から
9月前半の
届出分

- 矢吹 創永^{そうえい} 涼太^{りょうた} 8/5 新 町
- 三川 瑛大^{えいと} 達也^{たつや} 8/8 仙美里町
- 宮野下 愛^{まなみ} 睦^{むつ} 8/13 柳 町
- 大木 拓磨^{たくま} 周平^{しゅうへい} 8/16 西仙美里
- 安達 友悟^{ゆうご} 淳也^{じゅんや} 8/25 北3丁目

おくやみ

- 三浦 富枝^{とみえ} 84歳 8/15 弥生町
- 白田 信義^{のぶのり} 63歳 8/20 北2丁目
- 府川 千恵^{ちづえ} 77歳 8/20 追名牛
- 林 ハルミ^{はるみ} 93歳 8/20 北3丁目
- 森原 ミツ^{みつ} 96歳 8/21 北7丁目
- 吉田 俊昭^{しゅんしょう} 82歳 8/29 勇足西2
- 南部 勇一^{ゆういち} 86歳 8/29 勇足西5
- 倉崎 サツ子^{さつこ} 71歳 9/6 勇足東3
- 瀬藤 柳一^{りゅういち} 76歳 9/6 清流町
- 井出 卯八^{うしやち} 83歳 9/7 美里別西上
- 三田 ヒフミ^{ひふみ} 99歳 9/9 勇足東5
- 綾部 信雄^{のぶお} 75歳 9/10 北5丁目
- 金子 正光^{まさみつ} 92歳 9/11 勇足西2
- 川上 登^{のぼる} 72歳 9/11 新 町
- 久常 珠子^{たまこ} 63歳 9/14 勇足西4

わたしたちのまち

前月比

- 人口 8,456人(-8)
- 男 4,178人(-3)
- 女 4,278人(-5)
- 世帯数 3,936戸(-5)

〔8月末日住民基本台帳〕

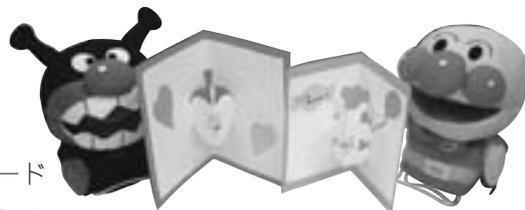
と き 10月30日(土)
午前10時~11時

と ころ 図書館2階 視聴覚室

内 容 「ステキな立体カードを、
かんたんに楽しく作ってみよう！」

〔幼児むけ〕 りんごのカード
※はさみが使えない子ども
さんは、保護者が一緒に
参加してください

〔小学生むけ〕 くま・いぬのカード



定 員 幼児10人、小学生10人

申し込み 10月22日(金)までに図書館へ ☎・FAX 22-5112

そ の 他 参加は無料です。材料、道具は用意します

この日は月末休館日の予定でしたが、読書週間臨時開館します
(午前9時~午後3時)

2010 全国読書週間

10月27日(水)▶11月9日(火)

標語「気がつけば、もう降りる駅。」

お問い合わせ先

本別町図書館

(愛称:ぶつくる一丸)

本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112